

勝山高等学校創立100周年

勝高だより 11月号



第81号 平成23年11月28日発行
岡山県立勝山高等学校 広報誌
TEL (0867) 44 - 2628
FAX (0867) 44 - 4730
学校ホームページ
<http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp>



～記念行事一覧～

記念式典 10月28日(金)午前

勝山文化センターにて、多数の来賓、歴代校長、卒業生、在校生による盛大な記念式典が開催されました。わが校は、1911年(明治44年)に「勝山町立勝山実科高等女学校」として開校され、教育制度の変革統合を経て今年度100周年を迎えることができます。生徒は会場準備、来賓受付案内、司会進行、バック演奏など、それぞれが担当を持ち活躍してくれました。その中で石井県知事、教育長、市長など各方面から祝辞をいただき、厳粛な式典になりました。

記念講演会 10月28日(金)午後

本校体育館にて、本校昭和44年卒業生で原爆放射線医科学研究所所長 広島大学教授神谷研二氏をお迎えし、「被ばく医療の現状と21世紀の社会」という演題で講演していただきました。正しい知識と情報を得る大切さを母校の後輩へ向けた人生のメッセージとして伝えて下さいました。

記念美術展 10月28日(金)～30(日)

勝山木材ふれあい会館において勝山高同窓生・在校生・関係職員による美術展が開催されました。洋画・日本画・立体・書などの数多くの展示があり、生徒は作品の搬入・搬出を率先して手伝いました。

記念誌発行、中庭整備および正門塀設置

記念誌は生徒全員に配付され、100年の重みを実感する一冊になっています。また、学校が華やかになり、より過ごしやすい環境に整備されました。

中庭芸術祭 11月4日(金)昼休み

「憩いの広場」のテープカット後、吹奏楽の生演奏の中、美術部によるのれんやもみじが描かれた背景に、書道部が勝高へのメッセージを書くという合同芸術パフォーマンスで中庭の完成を祝いました。

12月(終業式まで)の行事予定

- 3(土) 土曜日学習(重点日)
- 5(月)～9(金) 期末考査
- 8(木) カウンセラー来校
- 9(金) 生徒による授業評価アンケート実施
アダプト事業
- 17(土) 土曜日学習 プレマーク模試 普
- 18(日) 全商英語検定 プレマーク模試 普
- 19(月) 商業科学習発表会
- 22(木) 終業式
- 26(月)～27(火) 冬期補習



ふるさと勝山もみじまつり

勝高ショップ「おいでんせえ勝山」

11月6日(日)勝山文化センター駐車場を会場に行なわれた「ふるさと勝山もみじまつり」にビジネス科1年生が参加しました。

会社形式の組織を作り、企画・商品設定・仕入・販売・決算と自分たちで行い、流通の実習として参加しました。販売品目は果物・ロールケーキ・ようかん・飲料で、それぞれの仕事を自分で考えて、声もしっかり出して協力し合いながら行っていました。今年はいにくの雨でしたが、卒業生が商品開発した「富原茶あんロール」や「カフェ・俺・ようかん」の販売を行い、全て完売しました。“2年後には私も商品開発がしたい。”と話す生徒もいました。テントには多くのお客さんが訪れてくださり、多様な年代のお客さんと接する事で、日頃授業で学んでいる内容がどのような形で実際の現場で役立っているのかを体験できました。



それいけ吹奏楽!! (親子クラブ)

11月5日(土)勝山文化センター会議室にて、勝っ子クラブの0歳~6歳までの子どもとお母さん方約40名を招いてコンサートを行いました。アニメソングや童謡、クラシックなど様々な曲目をアンサンブルで演奏しました。「ドレミの歌」や「マルマル・モリモリ」では会場が一体となって歌い、踊り、楽しいコンサートとなりました。



プロジェクトK仕事の達人講座

11月7日(月)5~7限、恒例になりました「プロジェクトK(仕事の達人講座)」が1・2年生を対象に開かれました。各種分野で活躍されている社会人の方を講師にお迎えしての講座は全11種類で、生徒はこの講座から自分の将来を見据えた2講座を選択し、前半・後半に分かれて受講しました。各講師の方々の工夫をこらした内容・巧みな話術などを交えた講義に生徒たちは引き込まれていました。今後の進路を選択する上で何らかの指針とする事が出来たらと思います。



農学(「ヤマブドウと共に 6次産業化への挑戦」ひるぜんワイン有限会社 植木啓司先生) 工学・情報(「社会に貢献するシステム開発 SEのお仕事」株式会社ソフィア 植木進司先生) 化学・環境(「リサイクル事業と地域づくり」有限会社エコライフ商友 河野慶治先生) 経済(「公務員として歩んできて伝えたいこと 税務署の仕事を通じて」久世税務署 大坪宏之先生) 法学(「弁護士とは」真庭ひまわり基金法律事務所 森井基嗣先生) 社会学(「バイク便ライダーから社会学者へ 試行錯誤のキャリア形成」甲南大学 阿部真大先生) 文学・マスコミ系(「1+を見つけてよう!!」クループトーキング・アイ 松村美保先生) 福祉(「社会福祉士のお仕事」社会医療法人緑社会金田病院 内藤祐子先生) 医療(「看護教員のお仕事」津山中央看護専門学校 森岡美紀先生) 就職・製造(「木製スパーカー-真庭が発進すること!」株式会社佐田建美 佐田時信先生) 就職・環境(「進路選択のコツ&経営革新」アセス株式会社 藤本晴男先生)